

2023年7月7日(金)

老球の細道739号

名コーチとの出会い「世界のコーチ、トステイン・ロイブル」⑮

会津バスケットボール協会 室井 富仁

7月1日(土)郡山で福島県バスケットボール協会主催「前期リフレッシュ講習会」が開催された。新しい発見を楽しみに出かけた。講師がかつてスペイン・コーチツアーに同行したエルトラックの佐東氏であった。トステイン氏とのつながりでエルトラック社(バスケットボールの家庭教師)とも知り合え、世界が広がった。余談であるが、スペインに同行したエルトラックの水野慎士氏は現在 U-19 男子日本代表のアシスタントコーチを務めている。

【2004年 3月28日】

いよいよ本格的なバスケットボールクリニックがスタートする。ホテルで朝食をすましてトステインのチーム、ケムニッツ99のホームアリーナ「ケムニッツ・ハートマンホール」に行った。

9時15分から最初のクリニックがスタート。アリーナのVIPルームで英語による講義が行われた。トピックは「ケムニッツ99のスポーツコンセプト」と「ファンダメンタルからチームシステムまでのマスタープラン」であった。

ドイツのプロリーグ(ブンデスリーグ)の活動は8月からスタートして4月までシーズンが続く。シーズン中は55~60ゲームがある。うち30ゲームがアウェイゲームである。

チームのマスタープラン(年間練習計画)は、9月末までファンダメンタルを重点的に練習し、10月はポジション別の個人技、その後4月まで2:2、3:3へとステップアップするという。具体的な期分け(ピリオダイゼーション)がなされており、さすがにトステインコーチであった。週間計画も日曜日の試合日を念頭に週2回のピークを設け、試合日には最高のパフォーマンス(ケガのない)になるように組織されている。

10時からトステインコーチによる個人技ファンダメンタルのクリニックが行われた。最初に「ポストマン」のプレイである。バリエーション豊富な「マイカンドリル」のウォーミングアップからスタート。次にハイポストでのアタックムーブ、ポストでのシールの仕方、フラッシュポストからのアタックムーブ、そしてローポストでのアタックムーブと続き、最後にポストの1:1ライブで締めくくった。あっという間に系統的なドリルが終了した。

11時からポイントガードのプレイである。ロシア代表メンバーのプレイヤーがデモンストレーターである。フローティングドリブルからのアタックでウォーミングアップがスタート。次にフレイヤーカットやバスケットカット等からのシュート。ピック&ロールからの状況判断によるアタック。最後にビデオでドリブルフェイクの色々なスキルを学習した。

トステインコーチのクリニックの素晴らしさの1つに「ドリルの系統性」がある。トピックに関係するウォーミングアップドリルからスタートして簡単なドリルから徐々に難しく、複雑なドリルが絶妙にステップ・バイ・ステップで進行する。4コマ漫画、あるいは小説の「起承転結」を彷彿させる。私はこのことで彼に多くのことを学ばせてもらった。〈続く〉